

大阪の短期大学の英語教育と学生充足率について

鯨坂 はるよ*

The English education and the enrollment capacity fill rates of the Junior Colleges in Osaka

Haruyo Ajisaka

【キーワード】 短期大学, 英語教育, 学生充足率
Junior College, English education, enrollment capacity fill rates

1. はじめに

2002年度には大阪府に41校あった私立短期大学(短期大学部)¹⁾も2016年現在は25校²⁾である。「18歳人口の減少、学生のニーズの変化等によって、短期大学の数も年々減少が続くなど、短期大学全体としては厳しい運営状況が続いている」と中央教育審議会大学分科会大学教育部会短期大学ワーキンググループ(2014)も述べている。2017年度に閉鎖される短期大学もあり、短期大学の状況は大変厳しいものである。

短期大学は、「幅広い教養の育成を通じて『21世紀型市民』の人材養成機能を担う機関としての役割も期待されている」と中央教育審議会大学分科会大学教育部会短期大学ワーキンググループ(2014)も述べており、短期大学基準協会(2016)も「これまで展開されてきた教養教育は、短期大学の建学の精神に基づいた特色ある教育であり、今後も点検・評価を実施し、一層の充実を図ることが重要である」と述べている。このように、短期大学にとって教養教育は重要なものであるにも拘らず、短期大学の教養教育について検討されている研究は少ない。また、文部科学省(2010)が「大学教育のグローバル化に積極的に取り組み、大学教育の構造転換を果たすことが求められる」と述べているように、グローバル化が強く求められている中、短期大学の英語科目について検討されている研究も少ない。そこで、本稿では教養科目の中でも特に英語科目に焦点を当てて、大阪の短期大学の英語教育と学生の充足率について検討していきたいと思う。

所属および連絡先

*大阪千代田短期大学

2. 研究方法

本稿での調査対象校は、2016年度大阪府で開校している短期大学（短期大学部）25校、51学科である。同じ学科内でも、コースによって、学びが違ふ、教養科目も違ふこともあるので、大阪府の短期大学25校51学科69コース・専攻を調査した。調査方法は、対象短期大学の公式ホームページによる情報である。情報公開が進み、ほとんどの短期大学が、開講科目、2016年度シラバス、2016年度学生定員数、学生在籍者数（2016年5月1日の学生在籍者数）等を公開していた。2016年度シラバス、学生在籍者数がわからなかった短期大学は1校（5コース）である（2016年10月25日時点）。

本稿では、まず学科・学びの分野と収容定員の関係性、学科・学びの分野と学生の収容定員充足率の関係性を検討する。次に、学科・学びの分野と英語科目の有無の関係性を検討し、また英語科目の中でその学科（コース・専攻）の専門分野に近い内容をどのくらいの学科（コース・専攻）が行っているのかを検討する。学生の収容定員充足率と英語科目の有無との関係性と、学生の収容定員充足率と英語科目内容についての関係性を検討する。最後に、学生の収容定員充足率90%以上の学科（コース・専攻）で、その専門分野内容に近い英語での内容を行っている学科（コース・専攻）の英語科目のシラバス内容を検討する。

集計、分析ソフトには、Microsoft office Excel 2010、IBM SPSS Statistics Baseを使用した。

3. 分析結果と考察

① 学科・学びの分野と収容定員

まず、学科・学びの分野による収容定員の違いを検討する。

学科・学びの分野の分類の仕方は、学科名が違っても学びの分野が同じ場合もあるので、学科名が違っても、設置科目などで判断し、学びの内容で分類している。学科・学びの分野は、11の分野に分類した。1 保育：保育士、幼稚園教諭資格取得を目指す分野、2 介護福祉：介護福祉士取得を目指す分野、3 ビジネス・IT・医療事務・秘書：ビジネス・IT・医療事務・秘書の関連科目を中心に学ぶ分野、4 観光・言語：観光、言語を中心に学ぶ分野、5 看護：看護師取得を目指す分野、6 芸術、音楽：芸術、音楽の関連科目を中心に学ぶ分野、7 美容・ファッション：美容・ファッションの関連科目を中心に学ぶ分野、8 栄養・調理：栄養・調理の関連科目を中心に学ぶ分野、9 歯科衛生士：歯科衛生士資格取得を目指す分野、10 キャリアデザイン：キャリアデザインの分野、11 養護保健：養護教諭を目指す分野に分類する。

まず、学科・学びの分野によってどのような収容定員（1、2学年合わせた定員数）の傾向

があるのだろうか。学科・学びの分野ごとに収容定員を比較する。

表1 学科・学びの分野と収容定員

		収容定員							合計
		79人以下	80人～99人	100人～149人	151人～199人	200人～299人	300人～399人	500人以上	
学科・学びの分野	保育	1	0	0	4	8	3	2	18
	介護福祉	1	3	1	0	0	0	0	5
	ビジネス、IT、医療事務、秘書	1	1	4	4	1	0	0	11
	観光、言語	0	2	0	2	2	0	1	7
	看護	0	0	0	0	3	0	0	3
	芸術、音楽	0	0	0	1	0	3	0	4
	美容、ファッション	0	0	2	5	0	0	0	7
	栄養、調理	0	2	1	0	6	0	0	9
	歯科衛生士	0	0	0	0	0	1	0	1
	キャリアデザイン	0	0	0	1	2	0	0	3
	養護教諭	0	1	0	0	0	0	0	1
合計	3	9	8	17	22	7	3	69	

表1によると、定員数が最も多い学科・学びの分野は、観光・言語分野の1学科をもつ短期大学部で、1学年800人、2学年の定員数は1600人である。観光・言語分野は、大阪府の短期大学の中で、合計7学科あるうちのこの短期大学部以外の6学科の定員数は299人以下で、この短期大学部の学科定員数が1600人と突出して多いことがわかる。

次に学科の定員数が多いのが、保育士、幼稚園教諭資格取得を目指す学科で、その中でも2学科が突出して定員が多く、1つは600人、もう1学科は、2016年度500人、2017年度は100人増の600人である。保育分野は、200人以上定員の学科（コース・専攻）が13学科（コース・専攻）あり、大阪府の短期大学の中では、定員数の多い学科（コース・専攻）であることがわかる。

定員数が少ない学科・学びの分野は、介護福祉分野である。収容定員79人以下が、4学科（コース・専攻）ある。

② 学科・学びの分野による学生充足率

学科、学びの分野によって学生充足率に違いはあるのだろうか。学科、学びの分野と学生充足率をクロス集計した。

1校5コースの学生在籍者数不明の短期大学があったので、それは無回答とした。在籍者数は2016年5月1日時点の数である。

収容定員充足率が高い学科・学びの分野は、ビジネス・IT・医療事務・秘書分野であり、収容定員充足率が100%～119%の学科が2学科、120%以上が2学科、合計4学科である。

次に、収容定員充足率が高い学科・学びの分野は、看護分野で、2校の3学科である。同じ

表2 学科・学びの分野と収容定員充足率

		収 容 定 員 充 足 率							合 計
		無回答	50%未満	50%～69%	70%～89%	90%～99%	100%～119%	120%以上	
学 科 ・ 学 び の 分 野	保 育	1	1	2	5	5	4	0	18
	介護福祉	0	4	1	0	0	0	0	5
	ビジネス、IT、 医療事務、秘書	0	3	1	0	3	2	2	11
	観光、言語	0	1	0	1	3	2	0	7
	看 護	0	0	0	0	0	1	2	3
	芸術、音楽	1	0	0	3	0	0	0	4
	美容、ファッション	2	0	3	0	1	0	1	7
	栄養、調理	0	2	1	1	3	2	0	9
	歯科衛生士	0	0	0	0	0	1	0	1
	キャリアデザイン	1	0	0	0	1	1	0	3
	養護教諭	0	0	0	0	0	1	0	1
合 計	5	11	8	10	16	14	5	69	

短期大学部の中に看護分野の学科が2つあり、収容定員充足率は125%と122%である。もう1つの短期大学部の看護分野の学科の収容定員充足率は、114%である。

また次に、収容定員充足率が高い学科・学びの分野は保育分野で、3校の3学科である。それぞれ、収容定員充足率は108%、107%、107%である。「最も学生数の多い専門分野は教育系で全体に占める学生比率は37.4%（平成26年時点）で、短期大学の学生総数が減少している中でも教育系は微減に止まっている。」と中央教育審議会大学分科会大学教育部会短期大学ワーキンググループ（2014）も述べている。

収容定員を満たしていない学科・学びの分野で一番多い学科・分野は、介護福祉分野で、5校の5学科全て収容定員を満たしていない。次に収容定員充足率が低く、収容定員充足率が50%未満の分野は、ビジネス・IT・医療事務・秘書分野の3校、3学科である。ビジネス・IT・医療事務・秘書分野は上記で述べたように、収容定員充足率が高い学校もあり、二極化していることがうかがえる。

③ 学科・学びの分野と英語科目の有無

学科・学びの分野の中で英語科目の有無がどのような傾向にあるのだろうか。学科・学びの分野と英語科目の有無の関係を調べた。

次のように5つに分類した。1：英語科目がない、2：英語科目が教養科目の選択科目、3：英語科目が教養科目の必修科目、4：英語科目が専門科目の選択科目、5：英語科目が専門科目の必修科目、の5つに分類した。

全体的に多いのは、69学科（コース・専攻）中、英語を教養科目の選択科目にしている学科（コース・専攻）で、44学科（コース・専攻）である。保育分野は18学科（コース・専攻）

表3 学科・学びの分野と英語科目の有無

		英 語 科 目 の 有 無					合 計
		な し	教養選択	教養必修	専門選択	専門必修	
学 科 ・ 学 び の 分 野	保 育	0	12	6	0	0	18
	介護福祉	3	1	1	0	0	5
	ビジネス、IT、 医療事務、秘書	0	6	2	2	1	11
	観光、言語	0	4	0	0	3	7
	看 護	0	2	1	0	0	3
	芸術、音楽	0	4	0	0	0	4
	美容、ファッション	0	6	1	0	0	7
	栄養、調理	1	5	3	0	0	9
	歯科衛生士	0	0	1	0	0	1
	キャリアデザイン	0	3	0	0	0	3
	養護教諭	0	0	0	0	0	1
合 計	4	44	15	2	4	69	

中、英語を教養科目の選択科目にしている学科（コース・専攻）は12、教養科目で必修科目にしている学科（コース・専攻）は6である。介護福祉分野は教養科目に英語科目がない学科（コース・専攻）が3、教養科目の選択科目にしている学科（コース・専攻）が1、教養科目の必修科目にしている学科（コース・専攻）が1である。介護福祉分野は、英語科目を教養科目に入れていない傾向がある。観光・言語分野の学科（コース・専攻）は、英語が学びの分野でもあるので、専門科目の必修としている。他分野の学科（コース・専攻）は、教養科目の選択科目にしていることが多い。

④ 学科・学びの分野と英語科目内容について

英語科目でその学科（コース・専攻）の専門分野に近い内容をどのくらいの学科（コース・専攻）が行っているのだろうか。

学科・学びの分野と英語科目の内容が学びの分野に近い内容を行っているかどうかについて、クロス集計を行った。

2016年度のシラバスが不明な1校5コースは無回答とし、教養科目の中に英語科目がない、中国語を開講している4学科（コース・専攻）は非該当とした。

表4 学科・学びの分野と英語科目の内容

		学びの分野に近い内容				合 計
		無回答	あ り	な し	非該当	
学 科 ・ 学 び の 分 野	保 育	1	11	6	0	18
	介護福祉	0	1	1	3	5
	ビジネス、IT、 医療事務、秘書	0	7	4	0	11
	観光、言語	0	7	0	0	7
	看 護	0	2	1	0	3
	芸術、音楽	1	1	2	0	4
	合 計	2	29	14	3	48

大阪の短期大学の英語教育と学生充足率について

学科・ 学びの 分野	美容、ファッション	2	1	4	0	7
	栄養、調理	0	4	4	1	9
	歯科衛生士	0	0	1	0	1
	キャリアデザイン	1	1	1	0	3
	養護教諭	0	0	1	0	1
	合計	5	35	25	4	69

教養科目の中の英語科目で、その学科・コース・専攻分野に近い英語内容を行っているのは、69学科（コース・専攻）中、35学科（コース・専攻）である。教養科目の中の英語科目で、その学科（コース・専攻）分野に近い英語内容を行っていないのは、25学科（コース・専攻）であり、教養科目の中の英語科目で、その学科（コース・専攻）分野に近い英語内容を行っている学科（コース・専攻）が多いことがわかる。

⑤ 学生充足率と英語科目の有無について

それでは、学生充足率と英語科目の有無との関係はどうであろうか。

表5 収容定員充足率と英語科目の有無

		英 語 科 目 の 有 無					合 計
		な し	教養選択	教養必修	専門選択	専門必修	
収容定員充足率	無回答	0	5	0	0	0	5
	50%未満	2	4	3	1	1	11
	50%～69%	1	6	0	1	0	8
	70%～89%	0	6	4	0	0	10
	90%～99%	1	13	1	0	1	16
	100%～119%	0	7	5	0	2	14
	120%以上	0	3	2	0	0	5
合計	4	44	15	2	4	69	

収容定員充足率を100%以上満たしている学科（コース・専攻）で、教養科目の中に英語科目がないところはなかった。収容定員充足率を100%以上満たしている19学科（コース・専攻）の中で、英語科目を教養科目の選択科目にしているのは、10学科（コース・専攻）、教養科目の必修科目としているのは、7学科（コース・専攻）である。英語科目を専門科目の必修科目にしている2学科（コース・専攻）は、観光・言語分野の学科（コース・専攻）である。

⑥ 学生充足率と英語科目内容について

学生の収容定員充足率と英語科目内容についての関係性はあるのだろうか。英語科目の中で、どのくらいの学科（コース・専攻）が学びの分野に近い内容を行っているのだろうか。収容定員充足率と英語科目内容が学びの分野に近いかどうかをクロス集計した。

1校5コースの2016年度のシラバスが不明なので、それは無回答とした。教養科目に英語科目がないところは、非該当とした。

表6 収容定員充足率と英語科目内容について

		学びの分野に近い内容				合計
		無回答	あり	なし	非該当	
収容定員充足率	無回答	5	0	0	0	5
	50%未満	0	4	5	2	11
	50%～69%	0	4	3	1	8
	70%～89%	0	4	6	0	10
	90%～99%	0	13	2	1	16
	100%～119%	0	7	7	0	14
	120%以上	0	3	2	0	5
	合計	5	35	25	4	69

収容定員充足率 120%以上の 5 学科（コース・専攻）で、学科（コース・専攻）の専門内容に近い英語での内容を行っている学科（コース・専攻）は 3 学科（コース・専攻）である。収容定員充足率 120%以上の学科（コース・専攻）で、学科（コース・専攻）の専門内容に近い英語での内容を行っていない学科（コース・専攻）は 2 学科（コース・専攻）である。

収容定員充足率 100%～119%の 14 学科（コース・専攻）で、学科（コース・専攻）の専門内容に近い英語での内容を行っている学科（コース・専攻）は 7 学科（コース・専攻）である。収容定員充足率 100%～119%の学科（コース・専攻）で、学科（コース・専攻）の専門内容に近い英語での内容を行っていない学科（コース・専攻）は 7 学科（コース・専攻）である。

収容定員充足率 90%～99%の 16 学科（コース・専攻）で、学科（コース・専攻）の専門内容に近い英語での内容を行っている学科（コース・専攻）は 13 学科（コース・専攻）である。収容定員充足率 90%～99%の学科（コース・専攻）で、学科（コース・専攻）の専門内容に近い英語での内容を行っていない学科（コース・専攻）は 2 学科（コース・専攻）である。

収容定員充足率 90%以上の学科（コース・専攻）合計 35 の中で、学科（コース・専攻）の専門内容に近い英語での内容を行っている学科（コース・専攻）は 23 学科（コース・専攻）である。収容定員充足率 90%以上の学科（コース・専攻）で、学科（コース・専攻）の専門内容に近い英語での内容を行っていない学科（コース・専攻）は 11 学科（コース・専攻）で、英語科目を開講していない学科（コース・専攻）は、1 学科（コース・専攻）である。

収容定員充足率が高い学科（コース・専攻）は、学科（コース・専攻）の専門内容に近い英語での内容を行っている学科（コース・専攻）が多いことがわかる。

⑦ 英語科目のシラバスの特徴

それでは、収容定員充足率 90%以上の学科（コース・専攻）で、その専門分野内容に近い英語での内容を行っている 23 学科（コース・専攻）で、シラバス内容に特徴はあるのだろうか。

注目したのは、7 学科という学びの分野が違う多くの学科をもちながら、そのうち 2 学科が収容定員充足率 100%以上の学科、その他の 4 学科が 90%以上の収容定員充足率であり、全体

大阪の短期大学の英語教育と学生充足率について

的に高い充足率である短期大学である。この短期大学の保育分野の学科は、2017年度は定員100人増の1学年600人、2学年1200人という定員数となる。他の保育分野の学科（コース・専攻）より、定員が多いにもかかわらず、収容定員充足率が高い。この短期大学の英語科目シラバスは、学科での学びの分野に近い英語内容である。他大学の英語科目のシラバスとこの短期大学の英語科目シラバスとを比べると、シラバスの中で違う点は、この短期大学のどの学科の教養科目の英語科目シラバスにも「英語が苦手と思っている人も楽しく英語が学習できるように、学科の先生方が考えられた教材です。担当する教員も皆さんと一緒に勉強していくような教材です。」とあるところである。

また、それぞれの学科のシラバスの各回授業のタイトルは以下の通りである。

表7 調理・製菓学科、栄養学科シラバス 授業計画タイトル

第1回	Linc English（授業教材のアプリケーション）を使いこなしましょう。
第2回	Lesson 1 食材の果物を英語で扱えるようになりましょう。
第3回	Lesson 2 食材の野菜を英語で扱えるようになりましょう。
第4回	Lesson 3 食材の野菜の切り方を英語で説明できるようになりましょう。
第5回	Lesson 4 色々な調理器具を英語で説明できるようになりましょう。
第6回	Lesson 5 良く使う魚や貝を英語で説明できるようになりましょう。
第7回	Lesson 6 魚の下処理の方法を英語で説明できるようになりましょう。
第8回	英語の聞く力を試してみよう①！
第9回	Lesson 7 12か月の行事食の特徴を英語で説明できるようになりましょう。
第10回	Lesson 8 畜産食品を英語で説明できるようになりましょう。
第11回	Lesson 9 みそ、しょうゆ、砂糖などの調味料を英語で説明できるようになりましょう。
第12回	Lesson 10 食材を調味する方法を英語で説明できるようになりましょう。
第13回	Lesson 11 きのご類やナッツ類の食材を英語で説明できるようになりましょう。
第14回	Lesson 12 色々な調理操作を英語で説明できるようになりましょう。
第15回	レシピ紹介と総合復習（テストと振り返り）

表8 生活デザイン学科シラバス 授業計画タイトル

第1回	Linc English（授業教材のアプリケーション）を使いこなしましょう。
第2回	Lesson 1 基本的な洋裁道具とファッションアイテムを英語で表現しよう！
第3回	Lesson 2 色の表現力を高めて、ファッションセンスをアピールしましょう！
第4回	Lesson 3 おしゃれの方法を英語で伝えよう！
第5回	Lesson 4 ファッションアイテムの英語表現をどんどん増やして伝えましょう！
第6回	Lesson 5 繊維の種類とその特徴を英語で表現する専門的な英語力を高めよう！
第7回	Lesson 6 繊維の原材料（糸）の違いを説明しよう！
第8回	英語の聞く力を試してみよう①！
第9回	Lesson 7 ファッションコーディネートの小物を英語で表現しましょう。
第10回	Lesson 8 ファッショングッズの縫製技術について英語で説明できるようになりましょう。
第11回	Lesson 9 洋服の取扱注意を英語で説明できるようになりましょう。
第12回	Lesson 10 色々な上着を英語で説明できるようになりましょう。
第13回	Lesson 11 販売のファッションコーディネートの様子を英語で説明できるようになりましょう。
第14回	Lesson 12 繊維の測定や実験器具を英語で説明できるようになりましょう。
第15回	Life Design Course Lesson 1～12の総合復習（テストと振り返り）

表9 幼児教育科シラバス 授業計画タイトル

第1回	Linc English (授業教材のアプリケーション) を使いこなしましょう。
第2回	Lesson 1 子どもたちに英語のあいさつを教えましょう。
第3回	Lesson 2 子どもたちに、色や時刻の英語表現を教えましょう。
第4回	Lesson 3 あたま、かた、ひざ… ボディータッチゲームを英語でやりましょう。
第5回	Lesson 4 おはじき、こま、フラフープ、大縄… おもちゃを英語で教えましょう。
第6回	Lesson 5 子どもたちに、ネイティブの発音で楽器の名称を伝えましょう。
第7回	Lesson 6 春、夏、秋、冬の行事や自然の変化を子どもに英語で教えましょう。
第8回	英語の聞く力を試してみよう①!
第9回	Lesson 7 いちご、スイカ、カボチャ… 子どもたちが好きな食べ物の英語を教えましょう。
第10回	Lesson 8 生き物の名称を英語で教えましょう。
第11回	Lesson 9 はさみ、かご、絵筆… 子どもたちが良く使う道具を英語で教えましょう。
第12回	Lesson 10 洗顔、手洗い、入浴… 毎日の生活習慣を英語で教えましょう。
第13回	Lesson 11 家族のことを英語で教えましょう。
第14回	Lesson 12 晴、曇、雨、雷、雪… お天気の様子を英語で教えましょう。
第15回	Early Childhood Education Lesson 1~12 の総合復習 (テストと振り返り) を実施する。

表10 観光学科・経営会計学科・グローバルコミュニケーション学科シラバス 授業計画タイトル

第1回	Linc English (授業教材のアプリケーション) を使いこなしましょう。
第2回	Lesson 1 日常の活動を英語で説明しましょう。
第3回	Lesson 2 海外の観光旅行でよくある場面を英語で説明しましょう。
第4回	Lesson 3 ビジネスオフィスの日常で使われるものを英語で説明しましょう。
第5回	Lesson 4 日本の文化を英語で説明しましょう。
第6回	Lesson 5 ホテルや日本旅館の様子を英語で説明しましょう。
第7回	Lesson 6 ビジネスオフィスで使われる文具や書類の英語を覚えましょう。
第8回	英語の聞く力を試してみよう①!
第9回	Lesson 7 国際協力や代表的な世界遺産の英語表現を覚えましょう。
第10回	Lesson 8 観光旅行の必須アイテムや日本代表的な観光スポットを英語で説明しましょう。
第11回	Lesson 9 ビジネスの現場におけるコミュニケーションに関する英語表現を覚えましょう。
第12回	Lesson 10 アニメ、音楽、ダンス、演劇の基本的なことを英語で説明しましょう。
第13回	Lesson 11 色々な観光旅行のスポットを英語で説明しましょう。
第14回	Lesson 12 銀行で口座をつくりましょう。
第15回	Global Business Course Lesson 1~12 の総合復習 (テストと振り返り)

以上のように、全ての学科に合わせた英語内容となっており、どの学科のシラバス内容も英語が苦手と思っている学生が関心をもてる内容となっているのではないだろうか。また、注目すべき点は、「英語が苦手と思っている人も楽しく英語が学習できるように、学科の先生方が考えられた教材です。」と述べられている点である。他大学のシラバスで、「学科の先生方が考えられた」という文言は見当たらなかった。学科の教員と英語担当教員のコミュニケーションがよくとられ、話し合われた結果、このようなシラバスになっているのではないだろうか。

定員充足率が高い学科(コース・専攻)は、教養科目の英語科目についても、内容が教員間でよく検討されている。若しくは、教養科目の英語科目についても、内容が教員間でよく検討されている学科(コース・専攻)は、定員充足率が高くなる傾向があるという見方もできるかもしれない。

4. おわりに

収容定員充足率が高い学科・学びの分野で学科数が多いのが、ビジネス・IT・医療事務・秘書分野の4学科であったが、収容定員充足率が50%未満のビジネス・IT・医療事務・秘書分野の学校も3校、3学科あり、二極化していることがうかがえる。

次に、収容定員充足率が高い学科・学びの分野は、看護分野であった。また次に、収容定員を満たしている学科・学びの分野で多い学科・分野は、保育分野である。

収容定員を満たしていない学科・学びの分野で一番多い学科・分野は、介護福祉分野で、5校の5学科全て収容定員を満たしていない。

学科・学びの分野の中で英語科目の有無を見てみると、保育分野は、英語を教養科目の選択科目にしている学科（コース・専攻）が多く、教養科目で必修科目にしている学科（コース・専攻）もあった。介護福祉分野は、英語科目を開講していない傾向がある。観光・言語分野の学科（コース・専攻）は、英語が学びの分野でもあるので、専門科目の必修としている。他分野の学科（コース・専攻）は、英語科目を教養科目の選択科目にしていることが多い。

また、教養科目の中の英語科目で、その学科（コース・専攻）分野に近い英語内容を行っている学科（コース・専攻）が多いことがわかった。

収容定員充足率を100%以上満たしている学科（コース・専攻）で、教養科目の中に英語科目がないところはなかった。収容定員充足率を100%以上満たしている学科（コース・専攻）の中で、英語科目を教養科目の選択科目にしていることが多く、教養科目の必修科目としている学科（コース・専攻）もあった。

また、収容定員充足率90%以上の学科（コース・専攻）の中で、学科（コース・専攻）の専門内容に近い英語での内容を行っている学科（コース・専攻）の方が多いことがわかった。

収容定員充足率が高い短期大学の中でも注目したのが、7学科をもつ短期大学の教養科目の英語科目である。この短期大学の教養科目の英語科目は、全ての学科に合わせた英語内容となっており、どの学科のシラバス内容も英語が苦手と思っている学生が関心をもてる内容となっている。また、注目すべき点は、「英語が苦手と思っている人も楽しく英語が学習できるように、学科の先生方が考えられた教材です。」という点である。他大学のシラバスで、「学科の先生方が考えられた」という文言は見当たらなかった。学科の教員と英語担当教員のコミュニケーションがよくとられ、話し合われた結果、このようなシラバスになっているのではないだろうか。

定員充足率が高い学科（コース・専攻）は、教養科目の英語科目についても、内容が教員間でよく検討されている。若しくは、教養科目の英語科目についても、内容が教員間でよく検討されている学科（コース・専攻）は、定員充足率が高くなる傾向があるという見方もできるかもしれない。しかし、これはシラバスのみを分析したものであり、実際に行われている授業が

どのようなものか調査したわけではなく、今後、実際に行われている授業についても調査・検討すべきであると考えている。

またこれは、大阪の短期大学だけを調べた結果である。今後はもっと範囲を広げて、対象校を近畿全域の短期大学、日本全域の短期大学に広げ、英語科目の内容分析ももっと深めて検討していきたいと考えている。

<注>

- 1) タイムス出版部編 (2002)『大阪府学校一覧』タイムス、38-43。
- 2) 日本私立短期大学協会 (2016)「ポータルサイト」(www.tandai.or.jp/、2016年9月30日)
- 3) このパーセンテージ以下は、小数点第1位以下を四捨五入する。

<引用文献>

- タイムス出版部編 (2002)『大阪府学校一覧』タイムス
- 日本私立短期大学協会 (2016)「ポータルサイト」(www.tandai.or.jp/、2016年9月30日)
- 中央教育審議会大学分科会大学教育部会短期大学ワーキンググループ (2014)「短期大学の今後の在り方について (審議まとめ)」(www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/.../09/.../1351882_03.pdf、2016年9月30日)
- 短期大学基準協会 (2016)「選択的評価基準及び平成27年度評価からみた留意点について」(www.jaca.or.jp/、2016年9月30日)
- 文部科学省 (2010)「グローバル化の進展の中での大学教育の在り方」(www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo4/houkoku/attach/1297012.htm、2016年11月29日)